

配信資料に関する技術情報第535号

～ 高潮ガイダンス格子点値の一部格子点の取り扱い変更について ～
(配信資料に関する仕様 No30701 関連)

概要

気象庁では、高潮ガイダンス格子点値について、一部格子点の取り扱い（格子点における値の有無）の変更を行います。これに伴い、標記関連仕様のフォーマット表を更新します。

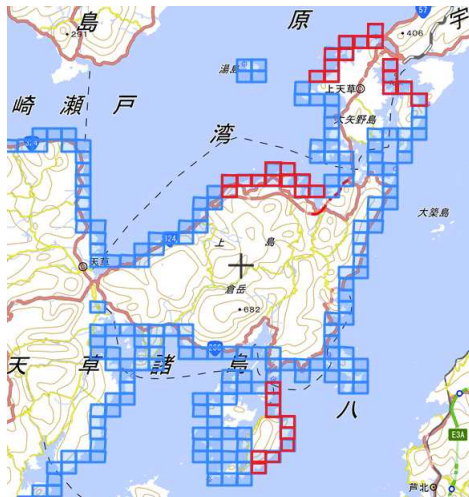
1 実施日時

令和2年7月2日（木）03UTC 初期値の資料より変更します。

なお、サンプルデータについては、（一財）気象業務支援センターを通じて提供します。

2 気象情報の変更内容等

熊本県の、有明海及び八代海の沿岸に沿った、従来「値無し」としていた格子点（計34格子点）について、取り扱いを「値有り」に変更し、予測潮位を格納します。取り扱いを変更する格子点の位置は、下図のとおりです。



図：格子点の分布。（赤い四角が今回「値有り」に変更する格子点。）

3 気象情報の仕様

本変更に伴い、標記関連仕様の別紙2-2「GRIB2 通報式による高潮ガイダンス格子点値データフォーマット」を更新します。変更点は、別添の新旧表をご参照下さい。

GRIB2 通報式による高潮ガイダンス格子点値データフォーマット新旧表

(旧)

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
(略)						
第5節	資料表現節 ここからテンプレート5.0 ↓ ↓ ↓ ここまでテンプレート5.0	1～4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6～9	全資料点の数		21117	
		10～11	資料表現テンプレート番号	符号表 5. 0	0	格子点資料 - 単純圧縮
		12～15	参照値 (R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		R	Rは可変
		16～17	二進尺度因子 (E)		E	Eは可変
		18～19	十進尺度因子 (D)		D	Dは可変
		20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12	
21	原資料場の値の種類	符号表 5. 1	0	浮動小数点		
(略)						

(新)

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
(略)						
第5節	資料表現節 ここからテンプレート5.0 ↓ ↓ ↓ ここまでテンプレート5.0	1～4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6～9	全資料点の数		21151	
		10～11	資料表現テンプレート番号	符号表 5. 0	0	格子点資料 - 単純圧縮
		12～15	参照値 (R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		R	Rは可変
		16～17	二進尺度因子 (E)		E	Eは可変
		18～19	十進尺度因子 (D)		D	Dは可変
		20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12	
21	原資料場の値の種類	符号表 5. 1	0	浮動小数点		
(略)						

- ・ 変更となるのは、第5節の6～9オクテット（全資料点の数）のみです。（パラメータが、「21117」から「21151」に変更。）
- ・ これ以外の箇所の変更はありません。